



## 発生動向等サーベイランス情報

### 感染性胃腸炎にご注意ください！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は冬から春先にかけて多く発生します！



高齢者では、嘔吐・下痢によって脱水症状になったり、体力を消耗することがあります。また、嘔吐物による誤嚥性肺炎にも注意が必要です。

★予防・感染拡大防止対策：

○流水・石けんによる手洗い

アルコール消毒が効きにくいいため手洗いが重要です。

○嘔吐物・糞便の適切な処理

十分に換気をしながら、速やかに処理をしましょう。

下痢等の症状がなくなっても、数週間～1ヶ月程度は糞便中へウイルスの排出が続くことがあるので注意が必要です。

ドアノブやトイレの便座なども必要に応じて消毒をしましょう。

定点当たり報告数  
トップ5 (R6.12.25現在)

1	インフルエンザ
2	新型コロナウイルス感染症
3	感染性胃腸炎
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
5	伝染性紅斑



←感染性胃腸炎



嘔吐物や糞便  
の処理方法→

## 感染対策のポイント

### シリーズ7：原因微生物は様々？

感染性胃腸炎は、ウイルス、細菌、寄生虫、と様々な微生物によって起こる病気の総称で、最もありふれた感染症のひとつです。原因となる微生物としてノロウイルスやロタウイルスが最も有名ですが、他にも様々な微生物が胃腸炎をおこします。吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、といった症状が主体ですが、なかには胃の調子が悪い、おなかが張る、おならが多い、腸が活発に動く、便が近くなる、などの症状程度で済む方もいます。ノロウイルス胃腸炎は症状が強く、うつりやすいため特に対策が必要ですが、他の原因微生物でも家庭内・施設内が起るため、注意が必要です。原因に関わらず、対策はノロウイルス胃腸炎と同様なので参考にするとよいでしょう。



### 感染症専門家からのアドバイス

健康な成人では感染性胃腸炎は通常自然軽快する疾患ですので、受診の必要がないことが殆どです（経口補水液やスポーツドリンクを尿が出るまで飲みましょう）。一方、小児や高齢者では胃腸炎による脱水がひどくなったり、胃腸炎のように見えて実は他の重大な病気である可能性もあるので、ぐったりしている場合には医療機関を受診して下さい。